



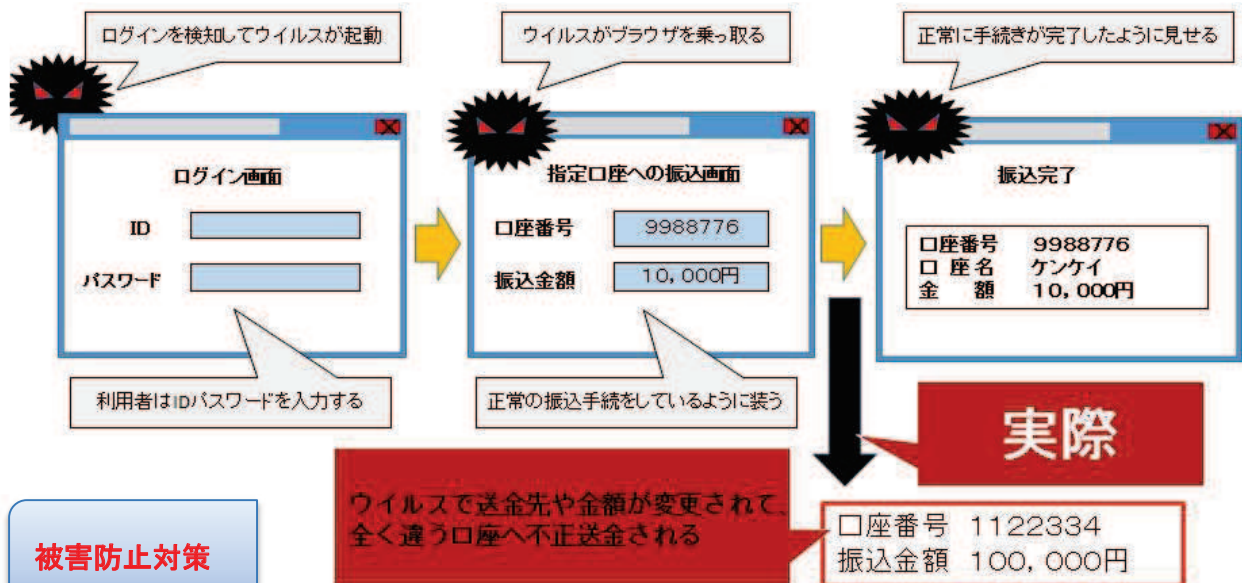
Kagawa Cyber Security Information

香川県情報セキュリティ連絡ネットワーク通信 Vol. 2

- ・平成 26 年中のインターネットバンキングに係る不正送金事犯の発生件数は 1,876 件（前年 1,315 件）、被害額は約 29 億 1,000 万円（前年 14 億 3,600 万円）と、前年に比べて大幅に増加しています。
- ・発生した不正送金事件の特徴は、発生が地方銀行や信用金庫・信用組合に広がるとともに、法人名義口座に係る被害が拡大しました。
- ・また、不正送金事件の攻撃手法のひとつである MITB (Man in the Browser) 攻撃の被害が、昨年中に少なくとも全国で 146 件発生しており、今後、特に注意を要する必要があります。

MITB 攻撃とは？

- ・ユーザーがウイルス感染したパソコンを使い、インターネットバンキングにログインしようとする時、ウイルスが起動し、正規サイトから送られてきた Web ページを乗っ取ります。
- ・ユーザーが送金手続きをした場合は、入力した振込先情報などをウイルスが勝手に書き換えます。
- ・ログインや送金の操作をするのはユーザー自身なので、ワンタイムパスワードなどの高度な認証でも回避されてしまいます。



被害防止対策

- ・ MITB 攻撃に対応した不正送金対策ソフトウェアを利用して下さい。
- ・ パソコンの OS やウイルス対策ソフト、利用しているソフトウェアを常に最新の状態に維持して下さい。
- ・ 取引履歴を確認し、身に覚えのない送金があれば警察に相談して下さい。



気を付けよう 危険な情報 不審なアプリ

第 10 回 IPA 情報セキュリティ標語コンクール受賞作品

香川県警察本部生活環境課
サイバー犯罪対策室
TEL:087-833-0110